

対象患者：胃がん

根拠文献：Lancet.2023;401(10389):1655-1668

レジメン名：mFOLFOX6+Zolbe(継続)

1コースの日数：14日

No.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法等も含む)	標準的投与量	投与方法	投与時間	Day		
					1	～	14
1	デキサメタゾン注 パロノセトロン注 アロカリス点滴静注	6.6mg 0.75mg 235mg	点滴静注	30分	○		
2	ボララミン注 生理食塩液	5mg 50mL	点滴静注	15分	○		
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	15分	○		
4	ピロイ点滴静注 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 生理食塩液量 = ピロイ投与量 (mg) × 0.45 (2mg/mLに調製)	点滴静注	備考欄参照 ※	○		
5	生理食塩液	50mL	点滴静注	15分	○		
6	レボホリナート注 生理食塩液	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	2時間	○		
7	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	85mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	2時間	○		
8	フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	ワンショット静注		○		
9	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	○		
10	フルオロウラシル 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> 150mL	点滴静注	46時間	○		

備考：

制吐剤として下記を内服

デキサメタゾン8mg/day 分1または2 (day2-3)

Rp6及びRp7は同時に投与開始

Rp10はインフューザーポンプを使用

※ピロイについて

2時間以上かけて投与、体表面積に応じて流速が異なる

インラインフィルター使用

調製後4時間以内に投与開始し、投与終了は調製後6時間を超えない

1コース目は、入院で行う。その際にアルプラゾラム錠0.4mgを前投薬開始時に内服。